



活力ある秋田 Vol. 70

心を温かくしてくれる ふるさと秋田

[秋田市観光クチコミ大使]

(株)文化放送 アナウンサー 石川 真紀氏

私が、ふるさと秋田の良さ、そして、故郷があることの豊かさを知ったのは、アナウンサーとして活動し始めて以降。高校卒業後に上京し、学生生活を送っている間は、自分に相応しい生き方や将来の進路を探ることに明け暮れていましたが、就職後、放送で秋田の話題になる毎、共演する方々から感想や思い出を訊ねられるうちに、歴史と可能性に満ちた素晴らしい郷土であることを、徐々に認識するようになりました。また、秋田のご出身で、関東近郊で暮らす方々から、同郷ということでの親近感を抱いたと嬉しいお便りを頂戴することも多々あり、離れてなお思いを強くする方が多いことも実感しています。

文化放送のAM波のサービスエリアは、関東1都6県が中心ですが、昨年、インターネットの同時放送「radiko.jp プレミアム」を通じて全国でお聞きいただけるようになりましたし、私が担当する番組には「ニュースパレード」のように全国ネットでお届けしているものもあり、各番組への反響を見るにつけ、出張や旅行など移動の機会が増えるのに比例して、1人1人、今後益々、ふるさとの良さを再認識する場面が増える予感がしています。

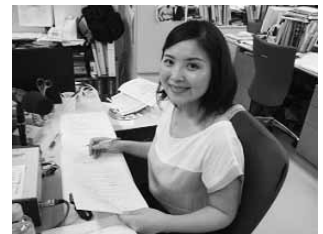
在京秋田県人新春交歓会の司会や、第29回国民文化祭・あきた2014の応援大使を務めさせていただく機会に恵まれ、担当番組では随時、各所のご協力のもと、秋田の名産品のリスナープレゼントを展開する中で、この数年の間に、ブランド化とサービス向上の面で目覚ましい推進力を発揮されている様子を目の当たりにし、秋田の底力を、ひしひしと感じているところです。

県外の人々が、秋田へ行ってみたい、秋田の名産品を飲んだり食べたりしてみたいと思う時、実際にその土地でないと味わえない温もりや味覚といった地域性と、様々な事情で出向くことはかなわない

ものの、お取り寄せしてみたい、あるいは、帰ってからリピート購入したいという需要に応えられる通信販売の活用と、双方のバランスを上げることが、いわゆるブランド化に繋がり得ると思います。これは、私自身、国内外各地を訪れるたびに思うことでもあり、その土地の魅力を広める為に必須の手段だと思っています。

近頃、中学や高校時代の同級生と話していて、当時は気づかなかった温かさに胸を熱くしました。例え没交渉の時期を挟んだとしても、再会した瞬間からお互いを尊重し合える大らかさは、秋田の県民性に根ざすものなのか、厳しくも豊饒な気候風土によるものなのか、今も思いを巡らしています。

離れた場所に暮らしながらも、秋田の時流を垣間見させていただき、これからも、我が故郷の魅力を、放送を通じて伝え続けてまいります。



■ 略歴

1974年 秋田市生まれ
秋田高校～早稲田大学経済学部経済学科卒業
1997年 文化放送入社
アナウンサーとして勤務後、2002年～2004年、報道部に記者として配属、警視庁記者クラブ、国会民放クラブ、司法記者クラブなどを担当。
2004年より、アナウンサーに復帰。
現在、「伊東四朗・吉田照美 親父熱愛」「ニュースパレード」「いとうせいこうGREEN FESTA」「林家正蔵のサンデーユニバーシティ」など、各番組を担当。